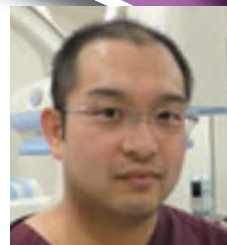


CASE REPORT 5

こういうときに「直線番長」 X SUPPORT0.014!



社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院 循環器科医長 **金子 伸吾 先生**

X SUPPORTの特性と対象病変

X SUPPORT0.014の先端は硬く、直線でバックアップが必要なところに有用であり、BKAの直線部位(ATA、PTA、PerA)やSFAの直線部位で使用している。また、Iliacの場合は少しのバックアップ強化が必要な場合に使用するとよい。

基本的なシステムは、例えば新規CTOの場合Parent Plus(4.5Fr/メディキット社製)→4FrCXI(Cook Japan)→X SUPPORT→Guide Wireや亜閉塞、再閉塞病変の場合にはParent Plus(3.0Fr/メディキット社製)→X SUPPORT→Guide Wire

Wireはコーティング、ノンコートいずれでもよい。Cruiseを使用してMicro knuckleも行いやすい。

病変情報

60代、女性

現病歴

糖尿病性腎症で維持透析。一昨年、SFA、EIAに対しPPIを、冠動脈3枝病変に対しPCIを施行されている。

2013年8月下旬より、左足関節以遠の持続疼痛、黒色変化を認め、爪周囲に感染兆候が見られたため紹介となる。

危険因子

DM+HT+HL-SM-

手技手順・方法

治療戦略

Parent Plus(3Fr/メディキット社製)、CXI(4Fr)+X SUPPORT0.014+ATHELETE JOKER PV(日本ライフライン社製)で、同側順行にATA-CTOのチャンネルを探った。X SUPPORTとCXIのバックアップサポートでさらにParent Plusを入れ込み(図1)、潰瘍部位の供血血管である足背動脈までSHIDEN(2.0×100mm/カネカメディクス社製:図2)と近位部3mmでPOBA(図3)を行った。さらにPTAは2.0mmのOTW/バルーン+Aguru™ Support(ボストン・サイエンティフィック社製)で病変クロスに成功することができ、POBAを行って終了した。

結果・考察

X SUPPORTの先端はきわめて硬く、約10cmに渡り直進性が強い。手前のシャフトも強く、CXIによるバックアップの併用で、Dotter目的で石灰化病変を打ち割っていく事が可能である。

先端が鈍であり、石灰化にトラップされ、ちぎれるというリスクは低いと考えられる。その分、Taperが掛かったマイクロカテーテルに比べ通過性は劣ることがあるが、ボディー全体を通じて剛性が高いため、Pushでもたわむ事がほとんどない。このことにより、X SUPPORTを軸に、3FシステムでもCXIやガイディングシースをBKAまで選択的に導入できると考える。

BK領域のCTO病変において、X SUPPORTのサポート性能が有用であった症例を経験したため、報告する。

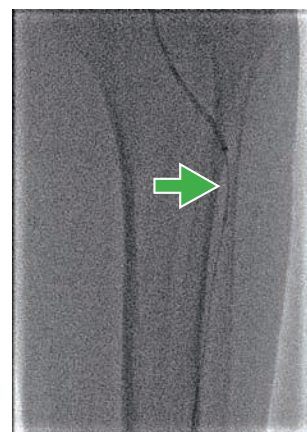


図1: →がX SUPPORT



図2

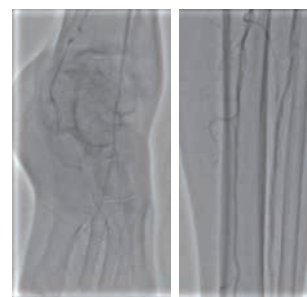


図3

図4

■販売名: マイクロカテーテル1
 ■承認番号: 22000BZX01363000
 ■特定保険医療材料請求分類: 010 血管造影用マイクロカテーテル (1)オーバーザワイヤー ①選択的アプローチ型 ア ブレードあり
 ■JMDN: 中心循環系マイクロカテーテル 70296004
 ■クラス分類: 高度管理医療機器 クラスIV

販売元

製造販売元

総販売元

ゼオンメディカル株式会社

株式会社ハイレックスコーポレーション

コーシンメディカル株式会社

URL: <http://www.zeonmedical.co.jp>